

情報教育科目における 成績評価方法

基礎教育センター
永井正洋

成績評価を取り巻く現状

- 中央教育審議会の大学分科会小委員会は平成19年10月、大学卒業時までには学生が最低限身に付けるべき能力を「学士力(仮称)」と定義した。
- 「学士力」は、「知識」「技能」「態度」「創造的思考力」の4分野13項目で示される。
- 技能の中に、情報活用力(インターネットなどの多様な情報を適切に使い、活用できる力)がある。
- 今後、科目ごとの到達目標や成績評価の基準を明確にし、学士力がどれだけ定着したか把握することが求められるであろう。

本学での情報教育

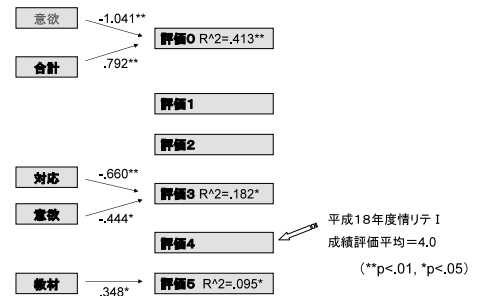
- 情報リテラシー実践 I (1年次、前期、必修)
 - 情報倫理
 - ローカルなコンピュータとネットワーク環境
 - e-mailとWeb検索
 - 文書編集(ワードプロセッサ)
 - データ処理(表計算ソフト)
 - プレゼンテーション
- 情報リテラシー実践 II AB(1年次、後期、選択)
 - II A 統計処理、データベース
 - II B Javaプログラミング

平成18年度情報リテラシー実践 I での 授業評価アンケートと成績評価の関係

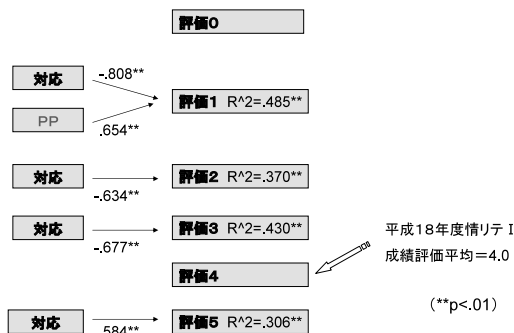
FD委員会 H18授業評価アンケート項目TE

- 問2 授業に意欲的・積極的に取り組んだ(意欲) ※問1 授業の受講者人数は適切な規模であった(規模)←不使用
- 問3 授業に対し、十分な理解力を持っていた(理解)
- 【授業について:共通事項】**
- 問4 授業は、目的が明確で、体系的であった(体系化)
- 問5 教科書、レジュメ、黒板、OHP、PC、CD、ビデオ等を適切に使用(教材)
- 問6 授業の難易度は、全体的に適切であった(難易)
- 問7 学生に聞き取りやすいように話すことができた(話方)
- 問8 効果的に学生の授業参加(質問、意見等)を促した(促し)
- 問9 学生の質問、意見等に対して、明快に、わかりやすく対応できた(対応)
- 問10 授業に対し、熱意を持って取り組んだ(熱意)
- 【情報リテラシー実践用個別事項】**
- 問11 授業を学生が選択するに当たってシラバスが役に立つように作成(シラバス)
- 問12 授業を通してコンピュータに関するスキルが身に付くように教えた(スキル)
- 問13 eメールやWeb検索についてよく知り、理解できるよう教えた(eメールとWeb)
- 問14 文書編集についてよく知り、理解できるよう教えた(Word)
- 問15 データ処理についてよく知り、理解できるよう教えた(Excel)
- 問16 プレゼンテーションまたはプログラミングをよく知り、理解できるよう教えた(PP)
- 【授業についての満足度】**
- 問17 学生は、この授業を受講して満足したと思う(学生の満足)
- 問18 私は、この授業を教えて満足した(満足)

H18授業評価(学生)と成績評価の因果関係



H18授業評価(教員)と成績評価の因果関係



因果関係のまとめ

- 教員は、学生とうまくコミュニケーションできた」と評価するクラスで、高い学習評価を与える傾向がある
 - 教員による授業評価は必ずしも学生と一致していない
- ↓
- リテラシーをきちんと評価しているか?
 - 学生が納得する評価となっているか?

情報リテ成續評価の標準化

成績評価の指針

- 情報リテラシー実践Ⅰ、Ⅱでは、成績評価に関して、文部科学省の言うところの単位授与の厳格化・標準化、また、GPAへの影響も鑑み、以下を参考として捉えるが、端的には極端に厳しい、または、極端に寛容な評価を避けるようにしたい。
- 成績評価は以下の2点に基づき、総合的に判定する。
 - 出席回数(4回以上欠席は原則として不合格)
 - 成果物(課題など)、発表内容、授業態度

平成20年2月22日

第6回 TMU FDセミナー

成績評価方法について

「都市教養学部理工学系における成績評価方法」

理工学系化学コース

伊與田 正彦

理工学系の授業に参加する学生数

理工学系学生数

(1-4年定数)

計 1040名
(実際は780名)

数理学	160名
物理学	180名
化学	180名
生命科学	200名
電気電子工学	160名
機械工学	160名

その他の理系学生数

(1-2年定数)

計 1340名(実際は1000名位)

都市環境学部	400名
システムデザイン学部	540名
健康福祉学部	400名

理工学系の授業の種類

理工学系学生

(1-2年生) — 理工系共通基礎科目 110 科目

(3-4年生) — 理工学系専門科目 185 科目

その他の理系学生

理工系共通基礎科目

数学	45 科目	生物	8 科目
物理	31 科目	電気	8 科目
化学	13 科目	機械	5 科目

受講学生数(全ての学生の合計)

理工系共通基礎科目(延べ人数)	8500 人
理工学系専門科目(延べ人数)	8100 人

首都大になってから生じた共通基礎科目の問題

(昨年度の段階)

(1) 学生のレベルと授業内容のミスマッチ

例: システムデザイン

物理通論Ⅰ、一般化学Ⅰ、解析入門

(平均点: 2.18) (平均点: 2.48) (平均点: 2.13)

(a) 都立大の学生の平均履修率(50%以下)を考えていたところ、90%以上の学生が履修 例: 離散数学

(b) 入試科目では課していないが大学で必修指定 例: 物理の基礎科目

(2) 学生数と講義室の広さの問題

解析入門Ⅰ: 163名 } 黒板に書いて
確立統計Ⅱ: 149名 } 説明できない
化学概説Ⅰ: 147名 } (狭い教室、小さな黒板)

昨年3月に改善に向けて話し合いをした